

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部



令和八年八月度 入賞句一覧

投句数 五百五 句

特選

八木 茂都子 選

夕焼けや友と帰った帰り道

大垣市 成瀬 亘（小六）

夕焼けは、夏の季語。太陽が沈んだあともしばらくは茜色にそまる大空は雄大です。仲のいい友人と楽しいおしゃべりをしたり笑いあつたり、時には歌を歌ったりしたのかもしれない。夕焼けを見るたびいい思い出が蘇ります。

ひまわりのたねには夏がつまっている

大垣市 栗田 明日菜（小二）

夏の代表ともいえるひまわり。その種のひとつひとつに「夏」がいつぱいつまっているって思うとワクワクしてきます。今咲いている大輪のひまわりの種にも今年の夏をぎゅつと詰め込んで、来年の夏、咲かせてくれるでしょう。

弟とヒミツの会ぎ月涼し

大垣市 木村 心音（小五）

秘密の会議、どんな会議だったのか、とても気になります。大人には内緒の子どもだけのヒミツ。ひそひそと布団の中で話をしたのでしよう。「月涼し」という季語が、その「会議」の内容をちよつとだけ教えてくれているようです。

秀逸

通知表見ずに封印夏来る

大垣市 市川 椋一（中二）

かきごおり白いてっぺん赤くする

大垣市 水谷 美琴（小六）

ひまわりとあつちむいてほいぼくのかち

大垣市 栗田 青羽（小二）

いちばんにながしそうめんつかまえた

大垣市 石づか ゆいり（小三）

ぼくのできはんげきかいしかをたいじ

大垣市 木本 そうし（小三）

入選

クロールのプールのけんていしんきろく

大垣市

ひしだ まひろ（小三）

逆上がり昨日できたよ風薫る

大垣市

中村 朱里（小五）

夏休みしゅくだいじごくまいったな

大垣市

黒住 京平（小三）

ひさしぶり元気百パーせみのこえ

大垣市

長澤 優里奈（小六）

銀行のガラスに映る夏の空

大垣市

西脇 大翔（小六）

あぶらぜみ晴れたひなくよじいじいと

大垣市

さとう さほ（小二）

青田風ゆれているよね海みたい

大垣市

名和 琴音（小五）

ひまわりが堂どう向き合う太陽と

大垣市

北島 奈柚花（小六）

ゆかたきていつもとちがう夏まつり

大垣市

早瀬 すみ玲（小三）

赤とんぼ夕日にまじり消えていく

大垣市

上村 美琴（小五）

選者吟

秋立つやほんのり匂ふ食前酒

茂都子



小中学生の部